

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高宏ニュース

NO.1068

15.9.1

参議院選挙区に坂口多美子さん

日本共産党和歌山県委員 多美子さんを擁立するご発表。
会は、8月26日、参議院和歌山選挙区候補に坂口多美子は2面に掲載しています。

9月定例市議会報告

8月31日(月)9月定例市議会が終わりました。8月中に終わった「異例の9月議会」でした。日本共産党市議団は、8件の議案のうち森下千枝子議員が、議案第1号と第3号の2件について討論し反対しました。本日は、その内容について報告します。

8件の議案のうち2件に反対

議案第1号は、一般会計補正予算です。地震対策の予算が災害に対する復旧費など歳入歳出予算の補正に

ついては、反対するものではありません。問題なのは、債務負担行為補正で、2016(平成28)〜2018(平成30)年度を期間として、小学校給食民間委託事業を計上していることです。

学校給食の調理・洗浄を民間委託するものですが、学校給食はコスト削減を優先させるのではなく、公的責任で子どもたちの発達を保障する学校給食の実施という観点で、直営に戻すことも視野に入れ議論すべきであり、民間委託の継続には賛成できません。

議案3号は和歌山木手教員条例の改正です。マイナンバー制度の通知カードと

フツの 人々



(851)



きいちゃん



個人番号カードの再交付手数料を定めることについて、年金機構の個人情報漏洩問題も解決せずマイナンバー制度による情報漏洩について

今週のフツの人々

(その14)

て国民の不安が一掃されてはいけません。国に何の意見も言わず、国の方針そのままに条例改正することは賛成できません。

きいちゃんが議場に

9月定例市議会最終日。市議会全会派の共同提案で「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会に関する決議」を採択しました。この決議は、44年ぶりの国体開催にあたり、市民ボランティアのみなさんや各種団体、各種業界の方々の努力に感謝の気持ちを示すとともに、市全体が大会成功をめざすことこそが、決意のときにも、わか



ひめだ高宏

「子ども絵手紙と工作教室」

大塚

日本共産党南ブロック後援会が8月に取り組んだこの行事報告を山形市社会事務局長に書いていただきました。の行事報告を山形市社会事務局長に書いていただきました。

日本共産党南ブロック後援会は、8月19日(水)地場産業振興センターで夏休みの「子ども絵手紙と工作教室」を初めて開き、大好評でした。

ペットボトルでスーパークーラーをつくる子や、ダンボールで動く怪獣の貯金箱をつくる子。絵手紙やプラバンを作成している様子。

「ここはムズイ。どうするの」「簡単や」など参加した23人の子どもたちは、ワイワイ、ガヤガヤ。みんな目を輝かして楽しく2時間近くを過ごしました。

当初予定の会場が狭いので、急ぎや会場を変更したのですが、子どもと保護者

「ここはムズイ。どうするの」「簡単や」など参加した23人の子どもたちは、ワイワイ、ガヤガヤ。みんな目を輝かして楽しく2時間近くを過ごしました。

当初予定の会場が狭いので、急ぎや会場を変更したのですが、子どもと保護者



後援会世話人の33人で清原に。保護者の方からは「子どもが喜んでました。来年もよろしく」と愛評が。

どんどこば 日本共産党

はじめまして、

来年夏の参議院選挙で和歌山選挙区から立候補することになった坂口夕美と申します。

私は昨年まで看護師として和歌山生協病院で働

いてきました。社会保障の改善がどんどん進む中で、医療従事者のがんばりだけでは患者さんの命を守ることはできないケースが増えています。こういった状況をもたまって見過ごすわけにはいかない、どんどん進む社会保障の改善を何としてモストップさせ、誰もが平等に安心して医療が受けら

れるようにしなければならぬ。この強い思いが今回参議院選挙を目指すきっかけともなりました。

この一年、全力で頑張ります。よろしくお願います。



坂口夕美子 (参院選挙区)

戦争法案反対！宣伝行動

多彩

8月30日(日)小雨降る中、「国会10万人・全国100万人大行動」の呼びかけに応え、紀三井寺交差点近くの国道沿いで1時間近く32人の参加者が戦争法案反対！を訴えました。

後援会が作成した「アベ政治は許さない」と印刷したお揃いのポロシャツを着た人たちが、電飾で「戦争法案を廃案に」と作成して参加した人。



ステキな歌声が街に響きました。

手作りポスターを首につりさげて参加された82歳の藤井さんは、「孫たちに戦争のない地球を残したい」とマイクで訴えました。

宇根さんはギターを弾き♪ウィシャルオーバーカムと歌って、参加者を激励してくる。など多彩で元気な宣伝行動となりました。

参加者のみなさん、ありがとうございました。ようこそでした。

日本共産党南ブロック後援会は、戦争法案を断念させるまで、引き続き宣伝行動に取り組めます。力を合せてまいらう。

